

住民意向調査速報版（富岡町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、富岡町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

富岡町

調査主体	復興庁、福島県、富岡町
調査対象	世帯の代表者（6,612世帯）
実施期間	令和元年8月26日～9月9日
回答者数	2,922世帯（回収率44.2%）

2. 調査結果のポイント

別紙のとおり

本件連絡先
（原子力災害復興班）担当：阿部、高橋
電話：03-6328-0250（直通）

富岡町調査結果のポイント

- ・将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・復興庁、福島県、富岡町の共同調査は8回目。
- ・帰還の意向については、平成30年度の調査と比べて、
 - ・「既に富岡町で生活している」及び「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」の合算が15.6%に微増（+0.5%）。
 - ・「戻りたいが、戻ることができない」及び「まだ判断がつかない」の合算が33.8%に減少（▲1.4%）。
 - ・「戻らないと決めている」が微増（+0.9%）。

（1）帰還の意向

既に富岡町で生活している	7.5%（5.2%）
戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）	8.1%（9.9%）
戻りたいが、戻ることができない	19.6%（18.4%）
まだ判断がつかない	14.2%（16.8%）
戻らないと決めている	49.0%（48.1%）

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H30.8)結果

（2）帰還を判断するために必要なこと（上位抜粋）

医療機関（診療科）の拡充	61.5%
商業施設の充実	46.4%
どの程度の住民が戻るかの状況	38.5%
介護・福祉施設の充実	36.8%
放射線量の低下の見通し、除染成果の状況	34.4%

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

（3）戻らないと決めている理由（上位抜粋）

すでに生活基盤ができているから	61.0%
避難先の方が、生活利便性が高いから	39.7%
医療環境に不安があるから	33.2%
原子力発電所の安全性に不安があるから	28.1%
生活に必要な商業施設などが不足しているから	25.6%

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答